

令和7年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
216	川崎市立南加瀬中学校	遠藤 英麿

学校教育目標	今年度の重点目標
知徳体の調和のとれた人間形成を目指し 1. 基礎基本を大切に、個性を生かす教育を推進する 2. 自他を大切に、責任ある行動をとれるようにする 3. 心身を鍛え、生き生きとした生活をできるようにする 4. 美しいもの、正しいものに感動する心を育てる	①生徒が意欲的に学校・家庭での学習に取り組むよう指導力・評価力を向上させる。また、道徳の授業を通して判断力・行動力を育成する。新学習指導要領に即した授業の充実と評価の在り方について研修を深める。 ②挨拶の励行や生活環境の整備、時間の遵守などの規範意識を育成する。 授業や部活動、教育相談や進路相談を通して、生徒理解を進め、共に活動することを通して生徒に自尊感情を育てる。 ③学年を越えた生徒主体の学校行事、生徒会活動、学級活動、部活動を推進する。 生徒の主体的な活動のなかで、自らの役割を果たさせ、できた喜びや協力することの大切さを体感させる。 ④教育活動の視点を踏まえた教育活動を推進し、多様なものの見方や考え方を尊重して、思いやりのある行動と好ましい人間関係を育てる。いじめや暴力のない民主的で明るい学校生活を送らせる。

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 教科・領域指導の充実 (確かな学力の育成)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わかる授業」に向けた授業公開</li> <li>授業公開や職員研修による指導力の向上</li> <li>授業参観</li> <li>家庭学習の定着</li> <li>個別の学習相談、学習支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「分かりやすい授業になるよう工夫されている」、「基礎・基本が身につくよう授業が工夫されている」の質問に対し、約90%の生徒が肯定的な回答をしている。しかし、保護者に関しては、今年度も「よく分からない」と回答する割合が30%強い近くあったことが課題と感じる。</li> <li>経験の豊富なベテラン教師と若手教師が自主的に授業を公開しあい、相互に授業評価する場面が増えてきたことが授業力向上につながってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間に予定されている授業参観やオープンスクール、学校便りなどを有効に活用し、生徒の日常の授業の取組や様子を保護者・地域に発信していく。</li> <li>教職員双方の授業見学等を計画し、教職員の授業力向上に努めるとともに適正な学習評価について研修を行う。</li> <li>個々の状況を的確に把握し、個別最適な学びを目指し、誰一人とりこぼさない学習指導を心掛ける。</li> </ul>
2 生徒指導・進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>(A) 挨拶をする</li> <li>(S) 掃除をする(環境整備)</li> <li>(J) 時間を守る</li> <li>不登校対策・登校支援</li> <li>教育相談 職員研修 進路指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「挨拶や時間を守る指導がされている」の質問に対し、生徒は、90%以上、保護者は80%以上肯定的な回答があり、良好な結果と考えられる。また、「学校は、学習や生活などの相談に対応してくれる」の質問に対しても生徒・保護者の肯定的な回答が大幅に改善している。</li> <li>「生徒の能力や個性を生かす指導が行われている」の質問に対し、肯定的な回答をした生徒は、昨年より改善しているものの、保護者の回答が約60%にとどまっており、課題と感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒がいつでも教職員に相談できる体制をさらに強化するために、教育相談の充実に向けての職員研修などを企画し、教育相談がより生徒にとって有意義なものになるようにする。</li> <li>教育相談等を通じて、生徒一人ひとりの状況を把握し、個に応じた能力や個性を活かす指導を組織的に展開する。</li> <li>生徒が、(A) 挨拶をする、(S) 掃除をする(環境整備)、(J) 時間を守る行動が身に着くよう、生徒の主体的なASJ運動を展開する。</li> </ul>
3 文化・体育活動の活性化 (特別活動の充実)	<ul style="list-style-type: none"> <li>笑顔あふれる楽しい学校づくり</li> <li>生徒会活動、委員会活動、特別委員会活動、学級活動の充実</li> <li>文化祭、合唱コンクール、体育祭、掲示物コンクール、大縄フェスティバル、新聞コンクール、年間ブロック優勝、クリーンレンジャー</li> <li>自主的な部活動の活性化</li> <li>学級での話し合い活動の推奨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「体育祭や合唱コンクール等の行事の指導を熱心に行っている」、「校外学習、職場体験、修学旅行などの体験活動が充実している」の質問に対し、生徒・保護者ともに、昨年度と同様、肯定的な回答が90%以上となり、良好な結果であると考えられる。</li> <li>「生徒会活動、委員会活動の指導を熱心に行っている」の質問に対し、生徒は80%強が肯定的な回答をしているもの、保護者は、70%にとどまり、生徒の活動の様子や内容の発信が課題と感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別活動に関しては、今後も肯定的な回答が90%程度になるよう、PDCAサイクルを繰り返しながら、よりよいものにしていく。</li> <li>大きな行事のみならず、普段の生徒委員会活動や委員会活動の生徒の様子や活動内容を保護者や地域に見てもらい機会を検討していくとともに、保護者が参画する生徒会活動や委員会活動を検討する。</li> </ul>
4 人権尊重・生命尊重教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と連携した安全・安心な居場所としての学校づくり</li> <li>キャリア在り方生き方教育の推進</li> <li>道徳教育の充実</li> <li>かわさき共生*共有プログラム</li> <li>思いやりのある人間関係づくりの推進</li> <li>いじめや暴力を許さない学校環境の構築</li> <li>地域と連携した活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「思いやりのある行動をする指導が行われている」、「いじめや暴力を許さない指導が行われている」に対し、生徒の肯定的な回答は、昨年度より改善して90%前後にあり、保護者の肯定的な回答も昨年度より改善しているものの、生徒と乖離が見られており、課題と感じる。</li> <li>「道徳教育は充実している」に関しては、昨年度よりも生徒の肯定的な回答が上回ったが、保護者の肯定的な回答が横ばいであり、保護者も実感できる道徳教育の充実が課題と感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「思いやりのある行動をする指導が行われている」、「いじめや暴力を許さない指導が行われている」に関しては、来年度も、肯定的な回答が90%以上になるよう、あらゆる教育活動の場面を通して、機を逃さずに指導し、安全・安心な学校を目指す。</li> <li>道徳教育の充実には、教育活動の様々な場面で成果となっていくと考えられるため、今後も本校の生徒の実情等に合わせた道徳に関する研修を実施していく。</li> </ul>
5 学校運営全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営の方針や取組の発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校教育目標、学年目標などが分かりやすく伝えられている」に対して、生徒・保護者ともに肯定的な回答が、昨年度より大幅に改善した。しかしながら、まだ発信が不足していると考えられる教職員もいるため、開かれた学校づくりに向けた取組が課題と感じる。今後さらに、教育目標を意識しながら諸活動に取り組めるような改善が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校便り、学校HPを有効活用し、学校の方針などを発信するとともに、教育課程説明会、新入生保護者説明会などを有効活用し、学校の方針を繰り返し、分かりやすい言葉で伝えるよう心掛ける。また、保護者のみならず、生徒にも学校教育目標を伝える場面設定を検討していく。</li> </ul>

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<ul style="list-style-type: none"> <li>会議では、参加した生徒の活発かつ自主的な発言が見られ、うれしく思う。学校評価の結果からも年を重ねるごとに、生徒や保護者の肯定的な回答が高まっており、南加瀬中学校が、良くなってきていると実感できる。</li> <li>より柔軟な思考で、社会通念に照らし合わせて、生徒が出発点となりどんどん新しい取り組みに挑戦して欲しい。</li> <li>生徒の様子から、南加瀬中学校を、よりよい学校にしていこうとする意欲を感じ取ることができた。次回の会議も、楽しみである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価アンケートからは、多くの設問で生徒・保護者ともに、昨年度よりも肯定的な回答を多く得ることができた。全教職員が学校運営計画に基づき各教科・各領域で生徒の実態を把握しながら教育活動を展開してきた成果であると考えられる。しかしながら、教職員の負担軽減、ワークライフバランスの両立も必要であると考える。生徒の活躍の場と、教職員の働き方改革のバランスを今後も検討していく。</li> <li>学校評価アンケートからは、教職員・生徒と保護者の回答において多くの設問で乖離があった。学校行事はもとより、日々の授業をはじめ、様々な教育活動や生徒の活動の様子を保護者や地域へ発信して行く必要があると考える。</li> <li>生徒一人ひとりの個性・社会性を伸ばし、必要な資質や能力を育成していくために、「わかる・できるを実感できる授業の展開と指導力の向上」「安心していきいきと過ごせる魅力ある居場所づくり」「生徒・保護者・地域・教職員の連携のもと、明るく楽しい学校づくり」を全教職員が意識し、全教職員が支援教育の視点を大切にしながら学校運営ならびに教育活動を展開していく。</li> </ul>